

個人消費について、食費・日用品は伸びているがこれは物価高によるもので、外食、旅行、衣類履物は減っていて節約志向である。

企業の倒産の中で従業員5人以下の会社で人手不足倒産が増えている。15歳から65歳までの労働人口は30年前8800万人だったのが今は7300万人ですが、実際に働いている人は増えている。女性や高齢者が働いているということ。そして労働供給の余力（労働人口から就業人口を引いたもの）は2千万人から1千万に減っている。今後10年間でそれがまったく余力が無くなるという見通しである。新潟県はもっと厳しい状況にある。

★資料はレターケース(小林孝氏)に入れておきますので興味のある方はご覧ください。